匠の技術にふれたくて
知っているようで知らない
ものづくりの現場を訪ねました。

大人の社会見学

ばね1本からオーダーメイド
こだわりのばね職人

経験と勘がモノをいうばね製作
微妙なズレを手で調整する職人の技
匠の技術を次の世代へ伝承していく

煉瓦積みのレトロな外観が目を引くミュージアム工場「啓匠館（けいしょうかん）」。東海バネ工業株式会社・豊岡神美台（かみよしだい）工場の新施設として、平成22年にオープンした。「啓」には『教え導く』の意味があり、匠の技術を次の世代へ伝承するという想いが込められている。

昭和9年創業の東海バネ工業は、大阪市に本社を持つばねの専業メーカー。一貫してばね製品を作り続けてきた会社で、「完全受注・平均ロット5個の超微量生産」という、業界では極めて特殊な生産体制をとっている。

ひと口に「ばね」といっても多種多様。電力プラントのタービン、鉄道車両から人工衛星に搭載される直径3ミリのばねまで、私たちの目には届かないあらゆる場所で使われている。

東海バネ工業では、ばね1本からフルオーダーメイドで対応。「こんなばねが1本だけ欲しい」という声に応えている。技術大国「ニッポン」の一躍を担っているといっても過言ではない。

「ばね作りは一にも二にも経験が大切。様々な要望に対してどう作っていくか、勉強の毎日です。頭を抱える難しい注文もありますが、想像力を駆使して形にできた時は、何にもかえられない達成感がありますね」とは、案内をしていただいた戸田哲也リーダー。20年のキャリアを誇る職人だが、ばねの世界は奥が深いと話す。

現在「啓匠館」では、主に圧縮・ねじり・引きばねといった小型のばねを中心に製造。5人の職人が巻き取り、仕上げ、整形、熱処理、検査などの工程に分かれて作業をしている。

その中でも最後の微調整を行うのは、45年のキャリアを持つ梶川信行さん。現代の名工にも選ばれている職人で、コンマ数ミリ単位でばねの歪みや間隔を、「ハシ」と呼ばれる道具で図面通りに微調整していく。頼れるのは今まで培った経験と体に染みついた手の感覚だけ。梶川さんの手にかかると、誰も修正できなかった不具合も見事に調整されていくそうだ。

「みんなこの仕事に誇りを持ってやっています」と、戸田さん。ばね1本にこだわる職人たちの卓越した技から、モノづくりの真髄を垣間見ることができた。

コイルばねの間隔調整を行う梶川さん。目の前には「ハシ」と呼ばれる道具がずらりと並び、それぞれの形態に合わせて使い分ける。ばねの特性を決める重要な作業で、自分の手に合うものと道具はすべて手作り。様々なばねを作る内に、「ハシ」の数も増えていったという。

ばねの元となる巻き取り作業。特性に合わせた微妙な調整が要求される。

ミュージアム工場「啓匠館」。外観の煉瓦は、一つ一つが煉瓦積み職人よる手積み。内部の壁面は、左官職人によって漆喰塗りで仕上げられていて、建物からも職人の息吹を感じることができる。

DATA
■東海バネ工業株式会社　豊岡神美台工場
豊岡市神美台157-21 TEL.0796-29-5730
あらゆる材質・寸法・形状の高品質・高機能のばねを、フルオーダーメイドで作り続けている。
http://www.tokaibane.com/

竹中司法書士事務所
●不動産登記　●商業・法人登記　●相続　●裁判事務

司法書士・行政書士
竹中 博司
司法書士 中田 治子
司法書士 松岡 英樹
TEL.0796-23-4111
FAX. 0796-23-4161
MAIL. takenakasihousyosi@sage.ocn.ne.jp

まかせなはれ！オーダーメイド

東海バネ工業は
お客様の“困った…”を
解決いたします！！

LET'S GO TO THE TEMPLE卍

お寺へいこう。

素朴ながらも優れた文化財がたくさんある但馬。近くのお寺にもっと足を運んでみよう！

往時を偲ぶ禅宗様仏殿と自然との調和が美しい大同寺

（左）開山堂の内部。天井が高く、化粧屋根裏を見せた造りとなっている。
（右）大同寺では、春は八重紅しだれ桜、夏は蓮の花、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々の景色が楽しめる。モリアオガエルの生息地としても有名。水琴窟もあるのでゆっくりと癒しの音色を楽しむのもいい。後ろに見えるのが開山堂。

開山堂に安置されている木造月庵宗光坐像。桧の寄木造りで貞享5年(1688)の作。市指定文化財。

今回案内をしていただいた木村住職

今回、編集部が訪ねたお寺は…

03 大同寺 だいどうじ

■兵庫県朝来市山東町早田417
TEL.079-676-3328

開山堂まめ知識

ONE POINT ADVICE

★屋根瓦を見てみよう！

山名氏の菩提寺であった大同寺。屋根瓦にも山名氏の家紋である「二つ引両」となっており、その由緒を物語っている。

100万回の般若心経を東北へ

大同寺では、東日本大震災の犠牲者の追悼と早期復興を願い、般若心経を100万回唱える取り組みを行っている。
5月に始め、現在1万6千回。100万回唱えるには10年以上かかるといい、多くの参加を得て100万回を目指すことに。「祈りや思いやりの気持ちが広がれば」と地域の人に呼びかけている。ぜひ参加してみよう。

※見学は自由ですが、くれぐれもマナーを守って鑑賞しましょう。

朝来市山東町に佇む醫王山（いおう）大同寺は、大同2年（807）に建てられた古刹。天台宗として始まったが、南北朝時代に月庵宗光（げつあんそうこう）禅師によって禅宗寺院として開山、山名（やまな）氏の菩提寺となる。応仁の乱の際、夜久野ケ原（やくのがはら）の戦いにて堂塔が焼かれ、江戸時代に入ってから臨済宗妙心寺派の寺院として再興された。

「山門」や「白衣観音図」「古文書」など数多くの文化財を蔵しているが、見どころは県指定重要有形文化財となっている「開山堂（かいさんどう）」。細部に至るまで建築当時のまま保存されており、県下でも珍しい江戸中期の唐様を基調とした仏堂遺構だ。入母屋（いりもや）造りで桟瓦葺きの屋根、軒下に裳階（もこし）というひさしをつけた禅宗仏殿形式となっている。

堂内には朝来市指定文化財の「木造月庵宗光坐像」や「観音山出土陶棺」などが安置されている。中に入ると、長い柱が天井までスラッと伸び、格縁（こうぶち）を井の字形に組み合わせた「格縁天井」が美しく広がっている。静かに佇み心を落ち着かせると、身体がスッと軽くなるようだ。

また、自然との一体感ももうひとつの魅力でもある。

「大同寺は山に囲まれたお寺なので自然も感じてほしい。春は桜、冬は雪景色など庭の景色も四季折々楽しめますよ」とは木村住職。

静かな境内からは鳥の鳴き声と風の音だけが聞こえてくる。時が経つのも忘れ、ぜひゆっくりと訪れてほしい。

市指定文化財となっている山門。切妻屋根をのせた薬医門形式。

宗教・宗派・国籍不問
永代供養
個人碑・夫婦碑・先祖碑
墓地の承継者のいない方、承継者があってもご都合でお墓の供養ができにくい方、遠隔地でご不便な方、一人でお困りの方のご供養を永代に勤めます。
<大同寺について>
当山は大同2年開創、1200年の歴史があり広大な寺領に桜もみじ、蓮の花などが楽しめる憩いの場となっています。北近畿道、山東インター下車1分の大変便利なところながら清浄な環境にあります。

大同寺Pet（ペット）霊苑
家族同様に過ごしたペットにも、いつかお別れの日がやって来ます。共に過ごした思い出を大切に、感謝を込め恩返しがしたいものです。「たくさんの癒しをありがとう。どうぞ安らかにおやすみ…」そんな思いを込めて、供養いたします。
火葬場、葬儀、納骨檀、合同墓地、合同慰霊祭、個別墓地
（種別）合同火葬、個別火葬、立会葬、埋骨、納骨、返骨
「犬、猫、鳥、小動物、その他」

臨済宗妙心寺派 医王山 大同寺
0120-506-531
〒669-5122 兵庫県朝来市山東町早田417
TEL.079-676-3328 FAX.079-676-5165
http://daido.or.jp/temple/